

Panasonic NPOサポート ファンド

2017年募集 子ども分野 新規助成 応募要項

※プログラム改訂のため本プログラムでの新規助成の募集は最終年となります。

助成テーマ：客観的な視点を取り入れた組織基盤強化

趣 旨

パナソニックは、事業を通じて持続可能な「より良い暮らし、より良い世界」～「A Better Life, A Better World」の実現に向けて取り組んでいます。あわせて企業市民活動においても、「A Better Life, A Better World」を実現するべく、製品・技術開発やモノづくりで培ったノウハウ・リソースを活かして環境や資源・エネルギー問題に取り組むことに加え、世界的な問題である貧困などの社会問題に目を向け、誰もが喜びを分かち合い、生き生きとくらす「共生社会」を目指してグローバルに活動を展開しています。

その際、NPO/NGO の皆様とも積極的に協働しており、社会課題の解決に取り組む市民活動が持続的に発展していくためには「NPO/NGO の組織基盤強化」が欠かせないことから、2001 年より「Panasonic NPO サポート ファンド」を通じて、NPO/NGO の組織運営上の課題解決に向けた取り組みを応援してまいりました。その結果、これまでに「環境」「子ども」「アフリカ諸国」の課題に取り組む NPO/NGO に 329 件 4 億 500 万円の助成をしてきました。

2017 年の「子ども分野」の募集事業では、第三者の多様で客観的な視点を取り入れながら組織の優先課題を抽出し解決の方向性を見出す「組織診断」や、組織運営上の課題を解決する「組織基盤強化」の取り組みを助成します。

パナソニックはお蔭様で 2018 年に創業 100 周年を迎えます。100 周年の節目となる 2018 年募集事業からは、新たな助成テーマのもと、より社会課題の解決促進に貢献できるようプログラムを改訂する予定です。つきましては「子ども分野」での新規募集の受付は今年度を最終年とさせていただきます。

子どもたちの健やかな育ちを応援する社会の実現を目指し、先駆的な活動と組織の自己変革に挑戦する NPO/NGO の皆様からのご応募をお待ちしております。

2017 年 4 月

パナソニック株式会社

特定非営利活動法人市民社会創造ファンド

助成について

1. 助成の対象となる団体

子どもたちの健やかな育ちを応援する新しい社会の実現を目指し、先駆的な活動と組織の自己変革に挑戦するNPO/NGOで、以下の要件を満たすものとします。

- ① 民間の非営利組織であること（法人格の有無や種類を問わない）
- ② 団体の設立から3年以上を経過していること
- ③ 有給常勤スタッフが1名以上であること
- ④ 日本国内に主たる事務所があること（活動地域は国内・国外を問わない）
- ⑤ 政治、宗教活動を目的とせず、また、反社会的な勢力とは一切関わりがないこと

※ 財政規模 1,000 万円以上の団体を想定していますが、必ずしも要件ではありません。

2. 助成の対象となる事業

第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織診断や組織基盤強化を応援します。助成の対象となる事業は、以下の【1】組織診断のみの取り組み、【1】組織診断と【2】組織基盤強化の連続した取り組み、【2】組織基盤強化のみの取り組み、の何れかとします。

助成区分	助成対象事業
【1】組織診断 フェーズ	① 第三者による組織診断を行い、組織全体を分析し、組織の優先課題とその背景や原因を明らかにする。
	② 組織診断の結果を踏まえ、第三者の助言または指導を受けて、組織課題の解決の方向性を検討し、解決策を立案する。
【2】組織基盤強化 フェーズ	③ 第三者の助言または指導を受けて、組織基盤強化計画（目標・手法・実施内容）を具体化する。
	④ 第三者の助言または指導を受けて、適切な進捗管理のもと、組織基盤強化計画を実行し、終了後は評価を実施する。

※ 第三者とは、応募団体が選定する NPO/NGO 支援機関や、NPO/NGO 経営支援の専門家等を指します。

3. 助成金額とその用途

1件あたりの助成金額は上限 200 万円とします。但し、組織診断フェーズのみの場合は上限 100 万円。なお、助成金の用途は、組織診断や組織基盤強化に必要な経費、コンサルティングに必要な経費、助成事業の進捗管理に必要な事務諸経費とします。

詳細は、別紙「応募企画書作成の手引」をご参照ください。

※ 2017 年の新規助成の助成総額は 750 万円、助成件数は 5~6 件程度を予定しています。また、別途要項によって、2015 年・2016 年に助成を受けた団体を対象に継続助成を行い、これを含めた助成総額は 1,500 万円を予定しています。

4. 助成事業期間

助成事業期間は2018年1月1日～2018年12月31日までの1年間とします。

- ※ 毎年度の選考を経て、最大、2020年12月末までの3年間継続して助成することがあります。
- ※ 助成が決定した団体の皆様には、2018年1月に都内で開催する贈呈式にご出席いただきます。
- ※ 中間報告書を2018年7月末日迄に、成果報告書を2019年1月末日迄にご提出いただきます。
- ※ 助成期間終了後、2019年2～3月に都内で開催する成果報告会にご出席いただきます。
- ※ 助成開始時と助成終了後に、助成事業の効果測定を行うための調査にご協力いただきます。

<助成プログラムの流れ>

2017年		2018年										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
助成プログラム	告知開始			応募受付	選考				結果公表	助成事業開始 (2018年1月1日～)		
イベント他	★4月～6月 組織基盤強化ワークショップ& 公募説明会							★12月 助成内定 覚書締結	★1月 贈呈式 組織基盤強化フォーラム			

2018年		2019年									
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
助成プログラム	助成事業期間 (2018年1月1日～2018年12月31日)								成果報告		
イベント他			★7月～8月 中間インタビュー(7月) 中間報告書提出(7月末) 継続助成応募締切(8月)						★1月～3月 成果報告書提出(1月末) 成果報告会(2～3月)		

選考について

1. 選考方法

提出された応募企画書にもとづき、学識経験者、実務経験者などで構成された選考委員会にて選考を行います。また、選考過程では団体資料の請求や事務局による現地ヒアリングを実施する場合があります。

2. 選考基準

- (1) 応募する団体が「助成の対象となる団体」の要件を満たしているかどうか
- (2) 応募する団体が行う活動は社会的な意義が高く、先駆性や独創性の観点から優れているかどうか
- (3) 応募する企画内容が以下の点で高く評価されるかどうか
 - ① 組織診断や組織基盤強化に取り組む背景・問題意識・目的が明確かどうか
 - ② 組織診断や組織基盤強化に取り組む時期として適切かどうか
 - ③ 組織診断や組織基盤強化の目標と方針が明確で、実現方法が適切かどうか
 - ④ 組織診断や組織基盤強化の体制・スケジュール・予算が十分に検討されているかどうか
 - ⑤ 組織診断や組織基盤強化に取り組むことで、組織を変革し、先駆的な活動に取り組み、子どもたちの健やかな社会づくりへの貢献が期待できるかどうか

3. 選考結果

選考結果は2017年12月中旬に文書にて連絡いたします。

応募について

1. 応募受付期間

2017年7月14日（金）～7月31日（月）【必着】

2. 応募企画書作成の用紙・手引の入手方法

応募企画書作成の用紙・手引は、パナソニックのウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

<http://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf.html>

ダウンロードできない場合は、①団体名と②氏名を明記し、「Panasonic NPOサポート ファンド（子ども分野）」とお書き添えの上、7月14日（金）までに、下記の子ども分野協働事務局まで、電子メールにてご連絡ください。

3. 応募企画書の送付

「応募要項」と「応募企画書作成の手引」をお読みの上、所定の応募用紙に必要事項を記入した応募企画書（原本1部とコピー1部の計2部、クリップ留め）を同封して、7月31日（月）【必着】までに、下記の子ども分野協働事務局宛てに、配達記録が残る郵便または宅配便にて、お送りください。

4. 応募に関するご相談・お問い合わせ

応募に関するご相談やお問い合わせは、下記の子ども分野協働事務局宛てに、電話または電子メールにて、ご連絡ください。

5. 応募企画書の送付先・お問い合わせ先

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

Panasonic NPOサポート ファンド 子ども分野協働事務局（担当：坂本・武藤）

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-3 日本橋MIビル1階

TEL：03-5623-5055（月曜日～金曜日 10：00～17：00） / FAX：03-5623-5057

E-mail：kodomocivilfund.org / URL：http://www.civilfund.org

●個人情報の取り扱い・問い合わせ先については5ページをご覧ください。

■総合事務局 パナソニック株式会社 <http://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability.html>

パナソニックは、事業を通じて持続可能な「より良い暮らし、より良い世界」～「A Better Life, A Better World」の実現に向けて取り組んでいます。あわせて企業市民活動においても、「A Better Life, A Better World」を実現するべく、製品・技術開発やモノづくりで培ったノウハウ・リソースを活かして環境や資源・エネルギー問題に取り組むことに加え、世界的な問題である貧困などの社会問題に目を向け、誰もが喜びを分かち合い、生き活きとくらす「共生社会」を目指してグローバルに活動を展開しています。

■子ども分野協働事務局 特定非営利活動法人市民社会創造ファンド <http://www.civilfund.org>

市民社会創造ファンドは、個人・企業・団体などから多様な寄付や助成の受け皿となり、個別のNPOが行う特定のテーマ活動に対して助成を行う、専門的なコンサルティング機能を備えた資金仲介組織です。

新しい市民社会の実現に寄与することを理念とし、NPOの資金源を豊かにし、NPOセクターの自立した発展と活性化を図ることを目的に、特定非営利活動法人日本NPOセンターの実績の一部を継承・発展する形で、2002年に設立しました。

「Panasonic NPOサポート ファンド」の応募に関する個人情報の取り扱いにつきまして

Panasonic NPOサポート ファンドへの応募の際に頂戴いたしました個人情報(以下「個人情報」といいます)の利用に関する取り扱いを以下のとおりお知らせします。

(1) 取り扱い会社名および事業場名

パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化部

(2) 個人情報総括責任者もしくはその代理人の氏名又は職名、所属および連絡先

パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化部 部長

(3) 個人情報の利用目的

応募企画書に記入いただきました個人情報は、次の目的に利用します。

- ①「Panasonic NPOサポート ファンド」の運営や、応募いただいた皆様への連絡(応募受付、選考、選考結果通知、助成手続き 等)に利用します。
ご連絡は、電子メール、お電話、FAX、郵便等で差し上げます。
- ②応募いただいた皆様へ、パナソニックが主催、共催、協賛、協力する社会貢献プログラムの案内等の情報を電子メール、郵便等で差し上げることがあります。

(4) 個人情報の第三者提供について

取得した個人情報は第三者に提供することはありません。

(5) 個人情報の取扱い委託について

取得した個人情報の取扱いを、「Panasonic NPOサポート ファンド」の運営、選考のために必要な業務に限定して、委託することがあります。

(6) 開示対象個人情報の開示等および問い合わせ窓口について

ご本人からの求めにより、当社が保有する開示対象個人情報の利用目的の通知・開示・内容の訂正・追加または削除・利用の停止・消去(「開示等」といいます。)に応じます。開示等に応ずる窓口は、以下の「お問い合わせ先について」をご覧ください。

(7) お問い合わせ先について

パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化部

〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル 電話 03-3574-5665

上記、[個人情報の取扱いについて]に同意のうえ、「Panasonic NPOサポート ファンド」の応募企画書に必要な事項を記載ください。